

移行要件整理表	作成日付	更新日付	作成者	承認者
ID:1-3s-00900				

### 移行に対する基本方針

契約情報、工事保守会社認定情報について、既存のPCデータなどから移行を行う。  
データの移行作業は、業務の閑散期にあたるX月から実施する。また、移行処理期間中の既存システムの停止は不可とし、移行処理は、非営業日に実施する。システムの適用は、事業所単位に順次適用する。  
システム稼動後、現場設備の情報とシステム上の情報の整合をとるため、随時補正入力を行う。

#### 1. 既存データの移行

##### ①契約データ、事業者基本台帳

- ・ 本社の作成する移行システムを各事業所に配布する。事業所は、PCに格納されている契約データ等を吸い上げ、電子媒体に格納し、支社へ提出する。
- ・ 支社は、各事業所から提出された契約データ等を支社単位に集約し、電子媒体に格納し、本社へ提出する。
- ・ 本社は、各支社から提出された契約データ等を集約し、新システムへの移行を行う。

##### ②工事保守会社認定情報の移行

- ・ 当社イントラネット公開情報に格納してある工事保守会社認定情報を本社で集約し通告データを作成する。

#### 2. 現場設備の情報とシステム上の情報の整合

- ・ 現場設備の情報とシステム上の物件情報・契約情報との整合をとるため、随時補正入力を行う。

分類	移行対象	移行方法	移行確認、検証手順	移行体制	移行時期	障害対応方針
データ	契約データ	各事業所のPCに格納されているデータを集約	移行プログラムを実行。正常終了、データの件数一致を確認。	事業所、支社、本社	XX年X月	本社にヘルプデスクを設置し、本社担当者へ連絡解決しない場合は、翌日情報子会社担当者が出向
	システムの移行や初期構築に関する要件を記述する。 移行システムを構築してデータ移行を行うのか、人手による作業が必要なのかを明確にする。 システムの切替時期(年度末、期末前等)、切替方法(一斉、順次、併存移行等)を明確にする。					
		契約補正入力	事象者別契約数と現場設備の整合を確認。	事業所	稼動後随時	—
	物件データ	物件補正入力	事業者別設備数と現場設備の整合を確認。	事業所	稼動後随時	—
	事業者基本台帳	各事業所のPCに格納されているデータを集約	移行プログラムを実行。正常終了、データの件数一致を確認。	事業所、支社、本社	XX年X月より順次実施	—
	工事保守会社認定情報	イントラネット公開情報から集約	移行プログラムを実行。正常終了、データの件数一致を確認。	本社	XX年X月より順次実施	—